



宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール

憧れの名選手と夢のプレー
宝くじスポーツフェアドリーム・ベースボールが8月22・23日、市営野球場などで行われ、プロ野球名球会とOBクラブ合わせて24名の元プロ野球選手とふれあいました。2日間で、約4500人が詰め掛け、大きな声援を送っていました。
23日の午前中は、県内の小・中学生に野球教室が行われ、憧れの選手からの直接指導もあり、夏休みの最高の思い出となりました。
午後からは、サインバットほか豪華賞品が当たるドリーム抽選会や、アトラクションとしてホームラン競争などがあり、その後、ドリーム・ゲームが行われました。
ドリーム・ゲームでは、元プロ野球選手と地元選抜チームが対戦。スーパードリームから珍プレーまで、楽しいゲームとなりました。結果は5対2で地元選抜チームが勝利。最優秀選手には、ランニングホームランを放った福永賢一さん(球聖クラブ)、センターフライをダイビングキャッチした木村慎二さん(ジーニアス)が選ばれました。



元気にラジオ体操でイキイキ ～夏期巡回ラジオ体操 みんなの体操会

■夏期巡回ラジオ体操 みんなの体操会が8月26日、総合グラウンドで行われ、多胡肇さんの体操指導のもと約2,500人が元気に体操し、爽やかな汗を流しました。

当日の様子は、午前6時30分からNHKラジオ第一で生中継され、枕崎を全国にPRする絶好の機会にもなりました。



人は何のために生きるのか ～稲盛和夫氏 特別講演会

■稲盛和夫 京セラ名誉会長による特別講演会が9月16日、枕崎観光ホテル岩戸で行われ、約900人が聴講しました。

稲盛名誉会長は、苦労した自身の生い立ちを振り返りながら「美しい優しい思いやりを持つこと。それだけで人生はすばらしく展開していく」と話し、聴講者は熱心に聞き入っていました。

ARTS×中学校吹奏楽部



市制60周年記念アトラクション 「60番目のまくら貝」



劇団ぶえん
迫真の演技で魅せる

市制60周年記念アトラクション、創作劇「60番目のまくら貝」が9月6日、市民会館で上演され、観客約1,200人が、見事な舞台を堪能しました。
**文化の融合
そして共鳴した瞬間**
本舞台は、市内で活動している14団体、約250人によるオリジナル舞台で、劇団ぶえんの演劇を柱に、音楽、踊りなどが融合し、枕崎の歴史や文化人情などを表現したものです。
ARTSと中学校吹奏楽部の競演では、ARTSの存在感と、中学生の生き生きとした躍動感が融合し、その迫力に会場いっばいに詰め掛けた観客は魅了されていました。
未来への希望
約2時間の上演の終盤、会場全員による市民歌の大合唱があり、中学生らの演奏で、希望の歌声が会場に響き渡り、一体感が生まれました。
そして、最後にスクリーンに9月3日に生まれた赤ちゃんの写真が映し出されると、会場からは大きな拍手がおり、市民みんなで作り上げたオリジナル舞台は盛大のうちに終了しました。

さまざまな団体がコラボレーションで魅せた



火の神太鼓×LCL



RENS×吾妻流藤波会



Lips×枕崎青少年少女合唱団×枕崎千翔会



市民歌大合唱



ちゃんサネ×枕崎舞踊連合会



マリンコース×コロ・フェローチエ×中学生